

【授業力向上推進プロジェクト】 事例2 消費生活と資源・環境

生涯を見通して主体的に学習に取り組む 態度を育成する指導方法の工夫

～時代・文化の変化に合わせて、生活を創造できる
授業実践と教材研究～

発表内容

- (1) 研究のねらい
- (2) 地区研究の歩み
- (3) 本校の研究実践
- (4) まとめと今後の課題

(1) 研究のねらい

支払い方法は多様化しており、近年では「キャッシュレス決済」を使う高校生も増えてきた。

さまざまな支払い方法のしくみや計画的にお金を使うことの大切さを理解し、消費者としての弱点を把握したうえで、様々な状況にたったとき、適切な支払い方法を選択することができる。

(1) 研究のねらい

<具体的な方法>

- ①地区の高校にアンケートをとり、高校生の決済方法の実態を共有する。
- ②自身を振り返る（お小遣い帳の作成・弱点把握）。
- ③様々な決済方法の特徴を学ぶ。
- ④ケーススタディから、購買行動について考える。

(2) 地区研究の歩み

5月 研究テーマ、内容について確認

7月 講演会

「決済手段の多様化と販売信用」

一般社団法人 日本クレジット協会

10月 研究授業

研究協議

(2) 地区研究の歩み

～本日の勉強会：目次～

① キャッシュレス決済の概要

☞ 多様な支払方法の種類、キャッシュレスがもたらす効果

② クレジットの特徴と利用ルールを理解する

☞ 三者間契約、リボルビング払いなど

③ 契約時トラブルを未然に防ぐ

☞ クレジットが絡む消費者トラブル

© 2023 JAPAN CONSUMER CREDIT ASSOCIATION

～キャッシュレス決済とは～

cashless = 現金 (cash) + 不要 (less)

現金以外の手段を利用して支払いや受け取りを行うこと

キャッシュレス決済

前払い

即時払い

後払い



※ロゴマーク、サービス等の名称は、各事業者の登録商標です。

© 2023 JAPAN CONSUMER CREDIT ASSOCIATION

(2) 地区研究の歩み (1~14は各高校自の実践例)

1	多様化する決済方法のしくみ
2	消費生活の現状と課題
3	支払方法の多様化と消費者信用
4	将来のライフプランニング
5	生活に必要な費用と管理、多様化する販売方法
6	多様化する支払い方法
7	進むキャッシュレス社会
8	購入・支払いのルールと方法
9	多様な支払い方法を知り、適切な活用方法について理解する。
10	購入・支払いのルールと方法
11	キャッシュレス社会に生きる、購買と契約、消費生活と意思決定
12	ライフスタイルと環境
13	キャッシュレス決済の現状とクレジットカードの利用
14	生活における経済の計画

(3) 本校の研究実践

- 1 本校1年生・地区高校生の実態把握
- 2 単元計画
- 3 教材研究
- 4 授業実践

(3) 本校の研究実践

1 本校1年生・地区高校生の実態把握

2 単元計画

3 教材研究

4 授業実践

(3) 本校の研究実践

令和5年度1年生

4月アンケート実施 184/188名回答

- ①あなたは「クレジットカード」を知っていますか？
→知っている用語や内容を教えてください。
→年齢など条件が合えば、使ってみたいですか。
- ②あなたは「デビットカード」を知っていますか？
→知っている用語や内容を教えてください。
- ③あなたは「QRコード決済」を知っていますか？
→知っている用語や内容を教えてください。

(3) 本校の研究実践

令和5年度1年生

4月アンケート実施 184/188名回答

①あなたは「クレジットカード」を知っていますか？

→知っている用語や内容を教えてください。

→年齢など条件が合えば、使ってみたいですか。

知っている 仕組みも説明できる	24名
知っている 仕組みは説明できない	143名
知らない	7名

- ・カードでお金を払う、一括払い、分割払い。
- ・三者間契約。
- ・18歳から契約ができ、作る際に審査が必要。
- ・銀行がお金を貸している。 ✕

(3) 本校の研究実践

令和5年度1年生

4月アンケート実施 184/188名回答

①あなたは「クレジットカード」を知っていますか？

→知っている用語や内容を教えてください。

→年齢など条件が合えば、使ってみたいですか。

使ってみたい	136名
使ってみたいとは思わない	38名

(3) 本校の研究実践

令和5年度1年生

4月アンケート実施 184/188名回答

②あなたは「デビットカード」を知っていますか？

→知っている用語や内容を教えてください。

知っている 仕組みも説明できる	3名
知っている 仕組みは説明できない	82名
知らない	88名

- ・銀行から直接引き落とされる。
- ・自分の口座内で支払う事が出来るシステム。
使いすぎると口座がからになる。

・バンドルカード ×

(3) 本校の研究実践

令和5年度1年生

4月アンケート実施 184/188名回答

③あなたは「QRコード決済」を知っていますか？

→知っている用語や内容を教えてください。

知っている 仕組みも説明できる	22名
知っている 仕組みは説明できない	125名
知らない	26名

- ・●●Pay、
- ・お店のQRコードにスマホをかざせば、商品を購入することができる。
- ・事前に金額をチャージして使う。

(3) 本校の研究実践

地区11校

9月アンケート実施 745名回答

①あなたは「QRコード決済」を知っていますか？

→知っている用語や内容を教えてください。

②あなたは「●●pay」などのQRコード決済を
使用したことがありますか？

→使用したことのあるQRコード決済を教えてください。

③QRコード決済を利用してトラブルに巻き込まれたことはありますか？

(3) 本校の研究実践

地区11校

9月アンケート実施 745名回答

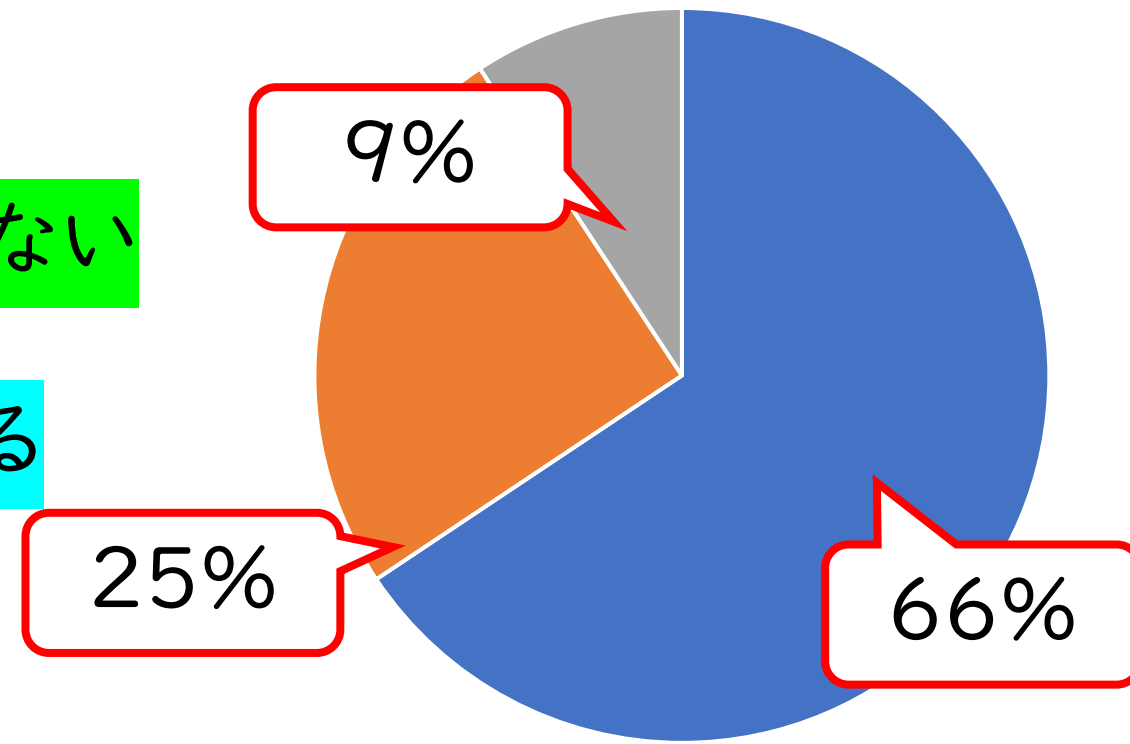
①あなたは「QRコード決済」を知っていますか？

→知っている用語や内容を教えてください。

■ 知っている・仕組みは説明できない

■ 知っている・仕組みも説明できる

■ 知らない



(3) 本校の研究実践

1 本校1年生・地区高校生の実態把握

2 単元計画

3 教材研究

4 授業実践

(3) 本校の研究実践

1時間目	契約と主体的な消費行動
2時間目	多様化する販売方法と問題商法
3時間目	消費者を守る制度・法律
4時間目	<u>多様化する支払い方法①</u>
5時間目	多様化する支払い方法②
6時間目	消費者の権利と責任、持続可能な社会

(3) 本校の研究実践

1 本校1年生・地区高校生の実態把握

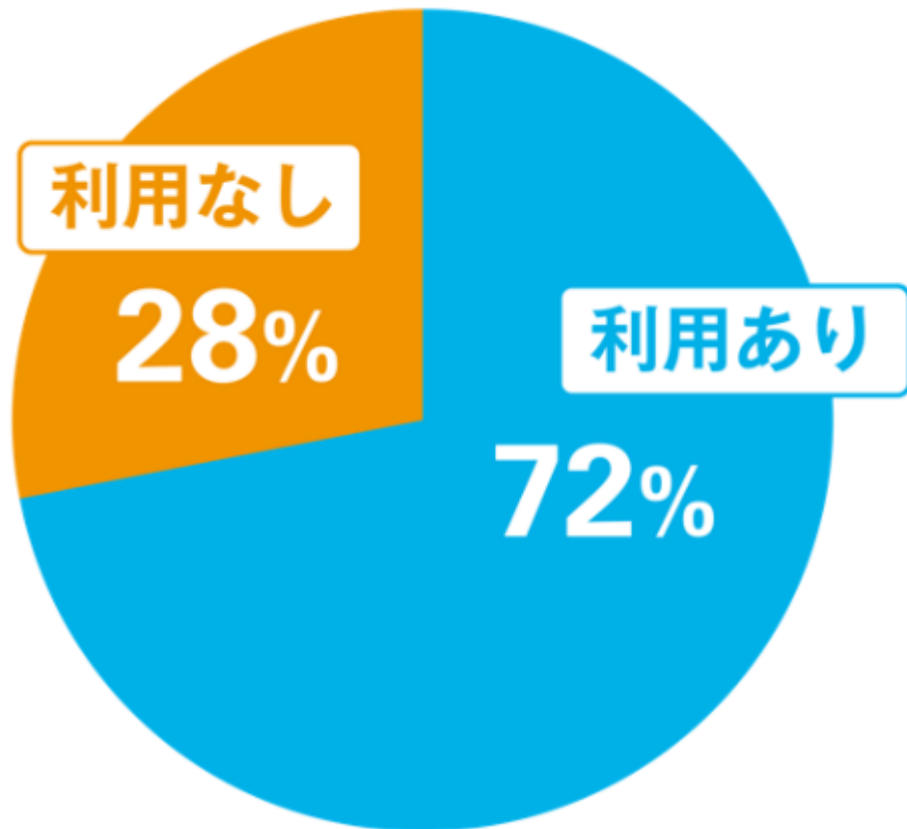
2 単元計画

3 教材研究

4 授業実践

(3) 本校の研究実践

キャッシュレス決済を利用したことありますか？



「SENSEIよのなか学」
実施の独自調査

対象：高校生男女

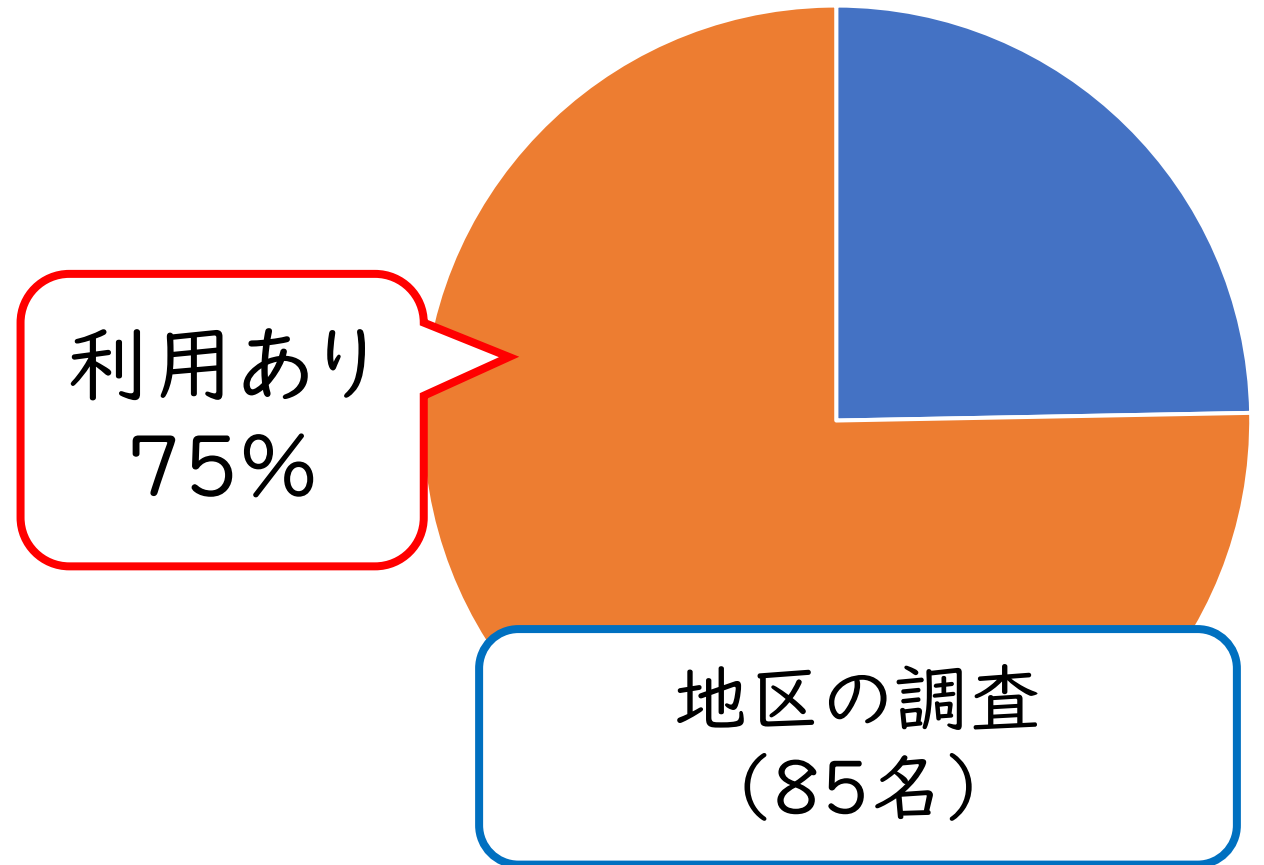
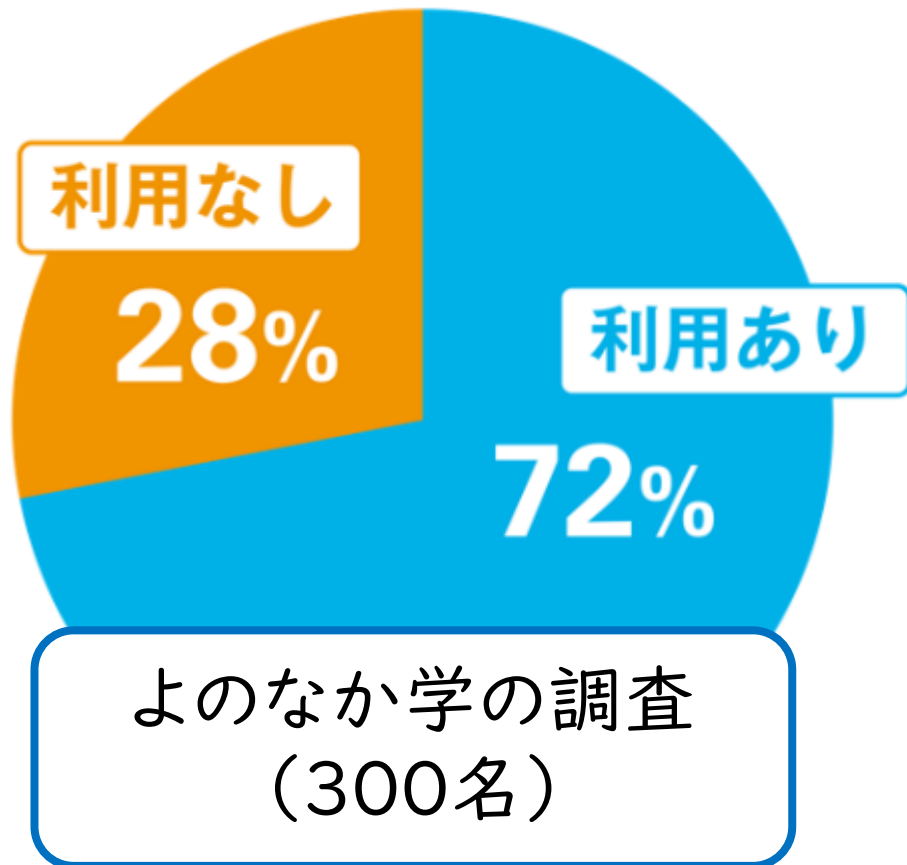
調査期間：2023.2.10-2023.2.17

調査方法：インターネット調査

回答数：300人

(3) 本校の研究実践

キャッシュレス決済を利用したことがありますか？



(3) 本校の研究実践

1 本校1年生・地区高校生の実態把握

2 単元計画

3 教材研究

4 授業実践

(3) 本校の研究実践

<流れ>

①10月下旬に研究授業を実施予定

→9月1日~30日「お小遣い帳」をつける。

②研究授業

→お小遣い帳をつけた反省。消費者としての弱点把握。

→様々な決済方法の特徴。

→Case study

(3) 本校の研究実践

<消費者としての弱点を把握する>

- a お小遣いの前借りはしない。
- b 衝動買いはあまりしないほうだ。
- c 友達と一緒に食事をしたり、買い物に行ったりするのは週に1回程度以下だ。
- d 自分のお金を何に使ったのか、覚えている。または記録している。
- e 毎月のスマホ代をだいたい把握している。
- f クレジットカードのメリットデメリットを知っている。
- g 毎月のお小遣いから貯金をしている。
- h お金を貯めて何かを買った経験がある。
- I 自分名義の銀行口座がある。

(3) 本校の研究実践

<授業風景>



(3) 本校の研究実践

<Case study>

①購入回数多い、金額少額、コンビニを利用



②購入回数1回、金額高額、絶対に必要とはしない



③購入回数多い、金額高額、旅行先での支払い



(3) 本校の研究実践

<Case study>

Case study 2

アルバイト先が決まり、来月から月5万円の手取りがあります。「今は大学の図書館のパソコンを使っているけど、自分のパソコン(7万円程度)がほしいなあ〜」(現在貯金は5万円です。)

あなたが選ぶ決済方法

★貯めてから購入★

【同時支払い】

- ①現金
- ②デビットカード
- ③QR/バーコード(スマホ)

★すぐに購入★

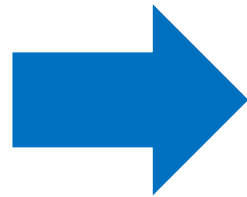
【後払い】

- ④クレジットカード
- ⑤QR/バーコード(スマホ)

(3) 本校の研究実践

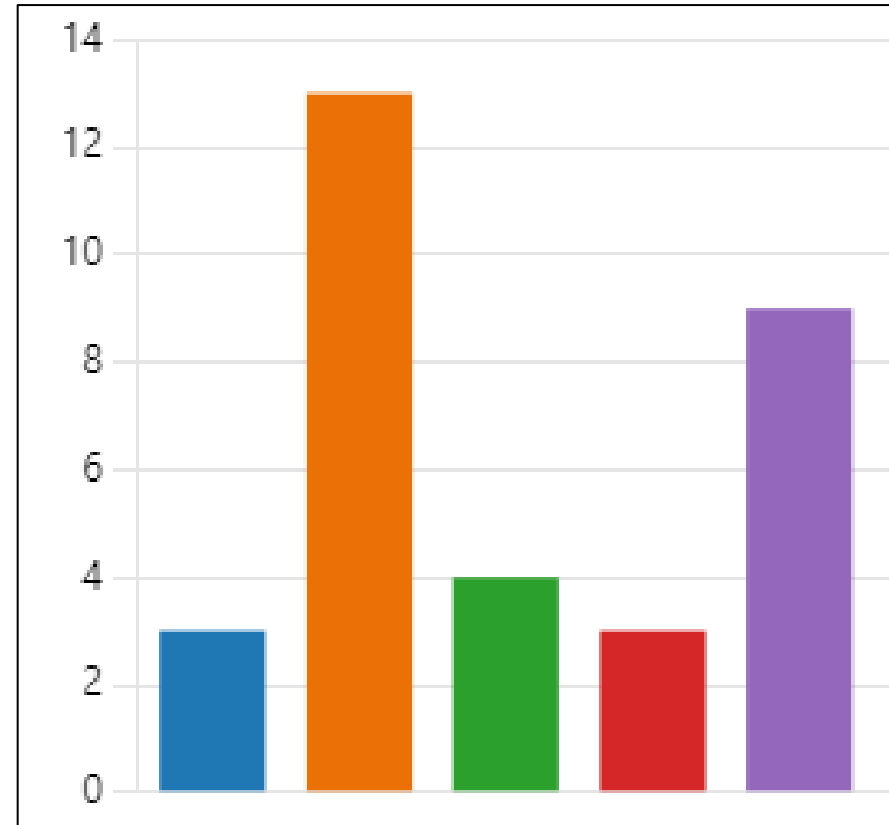


生徒が読み取る



グラフなどを
即時に共有

●	【前払い】 カード型電子マネー	3
●	【前払い】 QR/バーコード	13
●	【同時支払い】 現金	4
●	【同時支払い】 デビットカード	3
●	【同時支払い】 QR/バーコード	9
●	【後払い】 クレジットカード	0
●	【後払い】 QR/バーコード	0



(3) 本校の研究実践

<マイルールを作る>

購入するものやサービス、購入する場所が変われば、
支払方法も 変わる !

支払い方法を限定するのではなく、様々な支払い方法の特徴を理解したうえで、上手に使いましょう!

みなさんにとってキャッシュレス決済は、きっと生活に欠かせないものになっていくと思います。キャッシュレス決済を利用するときに絶対に守るべきマイルールを書きましょう。

これだけは守ります

!

(3) 本校の研究実践

<思考・判断・表現>

Case studyにおいて、それぞれの事例に立ったとき、自分にとってどの支払い方法が適しているのか考える。

	学習における 具体の評価規準 (B)	「十分満足できる」と 判断される状況 (A)	「努力を要する」と 判断される状況 (C)
評価	今の自分が、お金を自由に 使えるとしたら、どの支払い 方法を選ぶか考えることができ ている。 またデメリットについては、 仲間の意見を参考に考える ことができている。 (67%)	それぞれの支払い方法の特 徴をしっかり理解しており、理 由がはっきりしている。 またデメリットについてもしっ かり考えることができている。 (33%)	それぞれの特徴を理解でき ず、どの支払い方法を選択す ればよいか考えることができ ない。 (0%)

(3) 本校の研究実践

<思考・判断・表現 評価A>

思 (4) Case Study

【あなたの消費者としての弱点】
欲望をコントロールする力が弱い

【あなたの消費者としての弱点】
欲望をコントロールする力が弱い

【なぜその決済方法を選んだか】
→前払いのQR/バーコード(スマホ)
あらかじめいくらかお金を入れておけば、忙しい朝でもピッとするだけで買える。
たくさん買うと、お金が減ってしまうから、買いすぎることはない。

【デメリット】
もしお金を入れることを忘れていたら、レジでアタフタ、モタモタしてします

Case study 1
番号 (②)

あらかじめいくらかお金
を入れておけば、忙し
い朝でもピッとするた
けで買える
い、はい、買うと、お金
が減って、なくなる
から、めんどめんど買
いすぎることはない
⇨デメリット
もしお金がはいって
ないのを忘れてたら、
アタフタ、モタモタ
しちゃうかも。

(3) 本校の研究実践

<振り返りシート 主体的に学習に取り組む態度 評価A>

今後の決済方法について考えが変わったこと

使いみちによって、支払い方法を変え、得したり、損しないようにしたいです。自分の弱点は、欲望をコントロールする力が弱いことなので、その弱点を克服させたいです。クレジットだけあっても... (と人とかまで思ってたけど、他のものも使うようにすることから得につかえたりすることから分かりました。

使い道によって、支払い方法を変える。

今後の決済方法について考えが変わったこと

キャッシュレス決済はすごく便利だけど、お金の管理をしっかりできていないと無駄づかいになってしまうので、入金する金額を考えたり、場面によって支払い方法をえらんだりして、お金を大切につかえるようにしたい。

自分の弱点を把握したうえで、便利なキャッシュレス決済を使いたい。

(3) 本校の研究実践

<振り返りシート 主体的に学習に取り組む態度 評価A >

今後の決済方法について考えが変わったこと

今まではPayPayなどの前払いのキャッシュレスが良かったと思っていたけど、現金で払うことで「あれだけ使ったか」が見え、ムダ使いを防ぐことができて「いいこと」があることを知ることができました。

今日からできる持続可能な

現金決済の大切さも改めて学ぶことができた。

今後の決済方法について考えが変わったこと

キャッシュレス決済は、今後私も使っていくと思うので、前払い、同時支払い、後払いについて、もっとくわしく知り、むだづかいをなくしていきたいです。また、時と場合によって、使うものが変わってくるということを「子」にのびに上手に使い分けたいです。

今日からできる持続可能な

キャッシュレス決済の便利さも大切にしたい。

(3) 本校の研究実践

<振り返りシート 主体的に学習に取り組む態度 評価B >

今後の決済方法について考えが変わったこと

キャッシュレス決済を使うときは自分で知識を付けてから使う。

今後の決済方法について考えが変わったこと

いろいろな体いちがかりて木の注意点がたくさんある。

(4) まとめと今後の課題

<研究協議での意見 良かったこと>

- ・事前アンケートやお小遣い帳を作成することによって、生徒の意識づけができています。
- ・生徒が消費者としての弱点を知ったうえで授業に参加することにより、ポイントを見極めながら授業を受けることができる。
- ・formsを活用し、即時データを載せることは、視覚的に良い。
- ・生徒が三者間契約の流れを指でたどることは、説明するだけでは理解できない複雑さを理解することができる。
- ・中津高生は早いテンポにもついていくことができた。

(4) まとめと今後の課題

<研究協議での意見 改善点>

- ・1時間ではとても多い内容であった。
- ・クレジットカードの勉強を十分に行い、理解を深めてから、キャッシュレス決済について行うと良い。
- ・生徒間の交流や、生徒の意見を教員が拾って発表する場面があっても良かった。
- ・Case studyの内容を絞った方が良い。
- ・「電子マネー使用時のマイルール」や「クレジットカードの使用時のマイルール」など、具体的な方が書きやすい。

(4) まとめと今後の課題

<研究協議での意見 改善点>

- ・データを全て鵜呑みにしてはならない

日本のキャッシュレス決済比率(2020年)

Aデータ:32.5%

Bデータ:29.7%

家庭科において金融教育が充実した。様々な団体から有益な情報や、資料、教材が提供されるようになった。

⇔教員が翻弄されている。情報を整理することが大切。

本校の紹介

さあ、**探究**しよう!!

【地域課題型学習推進事業】

- SDG's 探究活動:地域のゲストティーチャーから学ぶ
- 放課後探究サロン(音訳ボランティア、水素自動車、大学生と話す会など)
- 地元活性化探究プロジェクト:地域探究チーム(市役所と連携して活動を行う)

チームA:駅前空間の活用 滞在快適性向上

チームB:まちなかイベントの企画、運営

チームC:まちの歴史と資源に触れる

昨年度9月に発足
本校独自の取り組み

現在28名の生徒が参加